

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東九条南山王町建物建設計画	階数	地上5F
建設地	京都市南区東九条南山王町5番1.5番3.5番4	構造	S造
用途地域	商業地域, 準工業地域, 準防火地域	平均居住人員	600 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年3月27日
敷地面積	3,373 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 東洋設計事務所 白井 大輔
建築面積	1,949 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月28日
延床面積	8,637 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 東洋設計事務所 白井 大輔



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用しており、「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	Q2 サービス性能 100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能
LR1 エネルギー	LED照明の採用。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
	LR2 資源・マテリアル 解体時において分別が容易であり、再利用できるユニット部材を用いている	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される